

2022年2月22日（火曜）

## 全労金2022春季生活闘争ニュース・第4号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

統一要求提出日の本日は一斉職場集会です。

「人への投資」の実現に向け、2022春季生活闘争を力強く闘おう！

全労金2022春季生活闘争は、本日、統一要求提出日を迎えました。

全労金は、第158回中央労使協議会において、労金協会に対し「改正『育児・介護休業法』の施行に合わせた対応」「産業看護職の働き方を含めた諸条件のあり方」「誰もが働き続けるための環境整備」の申入書を提出するとともに、単組では、団体交渉等で金庫・事業体・関連会社に要求書や申入書を提出し、2022年度の賃金・労働条件を決定する労使交渉を開始しました。

私たちの求めは「人への投資」です。

それは、労金業態で働く全職員が、2022年度の労金事業・労金運動に邁進できる賃金・労働条件であり、そのことが「労働金庫への投資」になり、コロナ禍の中、勤労者に寄り添う労働金庫として、地域社会の課題解決に取り組む労働金庫として、今後も存在し続けることにつながります。いわば、私たちの未来であり、労金業態の未来をつくる春季生活闘争です。

さらに、私たちの要求実現は、集団的労使関係にある16.9%の労働組合員だけではなく、集団的労使関係にない83.1%の労働者の皆さんへの波及につながります。

2022春季生活闘争のスローガンには「～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～」を掲げました。「みんなの春闘」の根幹は、全労金組織9,000名一人ひとりの想いや拘り、そして、労働組合に集い、交渉・協議の最前線にいる闘争委員会を支える結集力と団結力です。

本日以降、闘争委員会は金庫・事業体・関連会社と交渉を進めます。

コロナ禍であっても、全組合員が、職場組織の職場集会に参画し、全労金・単組2022春季生活闘争ニュースによる情報を共有するとともに、職場から闘争態勢を構築し、今春季生活闘争で全労金組織の組織強化を実現させ、回答期限日までに満額回答が得られるよう、力強く闘い抜きましょう。

全労金中央闘争委員会  
中央闘争委員長 末留 新吾

## ◎全労金は、労金協会と第158回中央労使協議会を開催しました！

2月22日（火）9時から第158回中央労使協議会を開催し、統一要求提出日であることを踏まえ、全労金の2022春季生活闘争方針の主旨を説明しました。

冒頭、全労金・末留中央闘争委員長、労金協会・中江理事長の双方から挨拶を受けた後、深見書記長から主旨説明を行い、労金協会・高橋副理事長から主旨説明・申入書を踏まえた所感が表明されました。



## ◎全労金は、労金協会に対して、「申入書」を提出しました！



「申入書」では、①改正「育児・介護休業法」の施行にあわせた対応、②産業看護職の働き方を含めた諸条件のあり方、③誰もが働き続けるための環境整備、に関わる協議の開始を申し入れました。



- 育児時短と子の看護休暇の取得対象者の拡大が必要だ。
- 不妊治療と仕事の両立支援は保険適用を踏まえた対応が必要だ。



※ 全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>)、  
Facebook (<https://www.facebook.com/zenrokin>) もご覧ください！

※次号は2月24日に発行します！